



# 文 武 両 輪

～勉強も行事も部活動も～

令和5年 6月 9日

【文責】校長 蔦川 誠

## 夢に向かって！

6月8日(木)、キャリア教育講演会を実施しました。

講師は、本校の卒業生で大相撲の序ノ口行司の式守衆候（ともきみ）さんでした。式守さんの本名は、宮古衆候さんです。本校卒業後に三本木農業高校へ進学し、相撲部に入部し活躍されました。高校卒業後は大相撲の時津風部屋に入門し、現在は序ノ口行司として活躍中です。

演題は「夢に向かって」で、式守さんの仕事を紹介するショートムービーを上映した後にトークセッションが行われました。事前に全校生徒が考えた質問について、講師の式守さんから分かりやすく答えていただきました。

トークセッションでの式守さんの言葉で、私自身が印象に残った言葉をいくつか載せます。

トークセッションでの式守さんの言葉で、私自身が印象に残った言葉をいくつか載せます。



- ・行事の仕事は土俵で勝負を裁くほかに、番付表に相撲文字を書いたり、本場所で場内放送をしたりなど、様々な仕事がある。(部屋の力士のメンタルケアをするときも)
- ・行事の仕事は最長50年も続けることができる。・相撲文字の習得には最長10年かかる。
- ・力士だけでなく、裏方がいるから大相撲は成り立っている。(一人でも欠けたらできない)
- ・1回取り組んだことは、辛くても悲しくても最後までやり遂げる。
- ・素直な気持ちがないと成長できない。 ・ミスした後は、そのミスを必ず成功に変える。

それでは、生徒の“振り返り”を紹介します。

### 1年1組 若宮 太志

僕が印象に残ったのは、式守さんのお母さんが「あきらめずにやりなさい」と言っていたことが、僕が母から言われていることと同じだったことです。僕は中学校時代の式守さんと同じように大きな夢や目標をもっているため、式守さんを見習って様々な経験を積んで、夢や目標をかなえるために頑張っていきます。

### 2年2組 中野渡 篤知

この講演会で学んだことは、一度やったことは最後までやり遂げることです。夢に向かって努力することは決して簡単なことではないと思いますが、難しくてもやめたいと思った時ほど頑張ることが大切だと思いました。これからは、困難な状況になると妥協したくなる自分自身に打ち勝って、夢を実現させることができるよう頑張りたいです。

### 3年2組 皆川 瑛太

僕がこの講演会で学んだことは、何事も素直に受け入れることです。素直に受け入れることで、人は成長できることを知りました。また、やると心に決めたことは、最後までやり遂げることも学びました。自分にはまだはっきりとした夢はありませんが、この講演会で学んだことを参考にして、自分の夢に向かって努力していきたいです。

